

種名	<p><u>コ</u>      <u>サ</u>      <u>ギ</u></p> <p><u>Egretta garzetta</u></p> 												
	分類	コウノトリ目 サギ科											
特徴	一年中くちばしが黒く、足指が黄色いシラサギ類。ユーラシア、アフリカ、オーストラリアの熱帯から温帯で繁殖し、日本でも本州から九州までの各地に留鳥として繁殖し、多い。近年、分布を拡げる傾向にあり、山間の盆地や北日本での観察例が増えてきている。冬期には一部の個体が南方へ渡る。												
生活	川、池沼、水田、干潟などの水辺で広く生活する。海にも現れることがあり、神奈川県三浦半島には沖合の生簀で採餌するコサギがいる。採餌方法は変化に富み、岸辺で待ち伏せしたり、水中で歩き回ったり、魚群のいる浅瀬で活発に走り回ったりして、魚などをくちばしではさみとる。干潟の泥の中からゴカイをくわえ出すこともある。												
声	シラサギの仲間はどれも同じような声を出すので、大変識別が困難である。コサギも繁殖期には「グワーグワー」とか「ゴァーゴァー」という、鼻にかかった声で鳴く。また、喧嘩や警戒時にも同じような声を出す。採餌中や飛翔中にはほとんど鳴くことがない。												
見分け方	黒いくちばしと黄色い足指が特徴。												
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
その他	産卵期は4～8月 全長(L)61cm 翼開長(W)98cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													